

スチューデント・ディプロマシー・コアー 2014



橋野のエコハウスにてソーラー発電で扇風機を回しました

7月24日から8月1日
【市内各所】

昨年に引き続いてアメリカを中心とする高校生たちが来釜しました。今年のテーマは「復興・エネルギー・持続可能な生き方」とし、地元団体の三陸ひとつなぎ自然学校および、かまいしリンク、ユナイテッドグリーンの三者が共同で研修を受け入れました。各プログラムでは、復興へと歩みを進める釜石の現状と地域の魅力を知ると共に、地域における持続可能なエネルギーの推進に関する活動やさまざまなボランティア活動を行いました。また、期間中には、釜石の家庭へのホームステイも実施し、家庭生活も体験しました。

大石に行こう！海水浴&シーカヤック体験

8月4日【唐丹町 大石海岸】

震災からしばらく海に近づけなかった子どもたちのために、海と親しむための場が大石海岸で設けられました。これは唐丹公民館のとうに寺子屋教室として企画され、唐丹の歴史を語る会、唐丹すぼこんクラブ、唐丹小学校、唐丹中学校などの唐丹の関係団体やボランティアの協力により開催されました。子どもたちは、大きな岩から飛び込んだり、浮き輪で泳いだり、シーカヤックを体験したり、スイカ割りをしたりと、思い思いに海を満喫し、夏の思い出をつくりました。併せて今年は唐丹の天文学者・葛西昌丞が建立した測量の碑が建立から200年目にあたることから、唐丹の歴史についても学びました。



海で楽しく遊ぶ子どもたち

釜石鉱山坑道見学会

7月30日、8月1・4・7・9日
【釜石鉱山坑道】

今年も鉄のふるさと釜石創造事業として、釜石鉱山坑道見学会が開催されました。見学会の内容は、トロッコによる坑道内の見学、旧釜石鉱山事務所展示室の見学、鉄に関する史跡の見学など。坑道内は気温が約10℃と、まるで天然の冷蔵庫となっています。坑道内では、参加者はトロッコの揺れを楽しんだり、ナチュラルミネラルウォーター「仙人秘水」の原水を飲んだり、天然の音響室で音楽を聞くなど、この日しか体験できない特別な時間を過ごしました。



鉱山でとれる岩石や鉱物の説明を受ける参加者たち

T ま o ち p の i 話 c 題 s

湖畔の集い2014

7月26日【日向ダム】

国土交通省および林野庁が定めている「森と湖に親しむ旬間」(7月21日~31日)に、毎年恒例の湖畔の集いが開催されました。ダム施設の一般公開では、参加者は約13℃とひんやりしたダム内部で涼みながら、施設を見学しました。ニジマスのつかみ取りでは、子どもたちがプール内ですいすい泳ぐ魚に苦戦しながらも、楽しそうに魚をつかまえ、その場でおいしくいただきました。なお、この旬間中にはダムのライトアップも行われました。



ダム施設内の見学の様子



ニジマスをつかまえた子ども

みんなの音楽祭 in 片岸海岸 夏の陣

7月21日【片岸海岸】

震災後、海から離れた生活が続く中、海を嫌いになってほしくないという願いと音楽をみなさんに楽しんでほしいという思いから、有志の実行委員によって海の日片岸海岸で音楽祭が開催されました。会場にはキッチンカーも駆けつけました。仮設ステージでは、高校生、アマチュアバンドからプロまで、多くのキャストが演奏し、片岸の青い海、青い空に歌声が響きました。



歌と太鼓と飛び入りのダンスの共演

Rock Corpsによるボランティア活動

7月12日【根浜海岸、橋野】

新しい社会貢献の形として、4時間以上のボランティア活動をすると音楽イベントに参加できるという、世界的ムーブメント「Rock Corps (ロックコープス)」が釜石にやってきました。参加者のボランティアを地元団体の三陸ひとつなぎ自然学校とユナイテッドグリーンが受け入れました。ボランティアの内容は、主に宝来館前の根浜海岸の清掃と橋野の菜の花農園での農作業となりました。参加者は終了後にコブクロなど4組のライブのチケットを手に入れました。8月30日にもこのRock Corpsのボランティアが釜石にやってきます。



海岸を清掃する参加者たち